

平成30年4月3日開催の部長会議の報告をします。

部長会議報告書

平成30年4月3日(火)

3階第2会議室9:15～

1. 市長訓示

(人事異動)

- ・今回の人事異動によって、新たに3名が部長級に昇格した。それぞれ、気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。
- ・上下水道事業のさらなる充実を図るため、上下水道事業管理者の権限を市長が行うこととし、より一層市長部局との連携ができるような体制とした。(特に、駅西區画整理、上野浄水場の更新における連携)
- ・教育委員会に各学校との連携強化を目的として教育監(次長級)を配置した。
- ・「地域創造プロジェクト(案)」の推進に向けて、総合支所を地区市民センターへ、地区市民センター及び独立公民館をまちづくり拠点施設へ機能転換する等地域コミュニティに関する施策を推進するため、市民環境部内に「地域コミュニティ局」を設置した。
- ・子どもに関する事業を集約することで、効率的、効果的に施策を推進するため、保健福祉部内に「子ども未来局」を設置した。
- ・駅周辺整備課、アセットマネジメント課、働き方改革・女性活躍推進室、スポーツ振興室、獣害対策室を新設した。
- ・新病院の経営状況を把握していくために、次長級職員を新病院の事務局長に、また、その他職員を1名派遣した。
- ・組織体制を2部3課11係減としスリム化を図った。

(リーダーとして)

- ・みなさんは、部という大きなチームを束ねるリーダーであり、マネージャーである。組織の活性化は、みなさんのマネジメント力とリーダーシップにかかっている。
- ・幹部職員としての自覚をもち、部下の規範となり、部下とのコミュニケーションも十分に取っながら、職場の全員が仕事のしやすい環境づくりに努めてほしい。
- ・そうすることで、チームとしての力を高め、組織としての仕事をレベルアップされることを期待している。
- ・職員の積極的なチャレンジ(挑戦する気持ち)を受け止めることができる職場であるよう、部長以下の管理職員が率先して見本を見せてもらいたい。
- ・働き方改革を行い、より一層働きやすい職場環境づくりを推進してワークライフバランスの確立を継続して図ってほしい。

(新年度)

- ・11の重点プロジェクトをしっかりと進め、形にするよう市政運営に取り組んでいただきたい。

- ・人口減少が叫ばれている中、社会増が自然減を補うよう「選ばれるまち桑名」の実現に向けて、さまざまな施策に取り組んでいく。
- ・選ばれるまちであり続けるために、どんなに社会環境が変化しようとも、それに柔軟に対応できるまちでなければならない。
- ・AIの普及によって社会全般に対して、さまざまな影響が出たり、また、安心・安全に移動するための自動運転システムの具現化が伝えられたりと、社会を取り巻く環境は変化しており、様々な新技術を活用しながら、この変化に適切に対応できる役所にしていかなければならない。
- ・将来の桑名のために優先的に進めるべき事業について適切な投資をし、まちの魅力を磨き上げていくため、スピード感を持って着実に実行していく。
- ・今年度予算については、限られた財源を有効に活用するため、歳出全体のあらゆる経費について徹底した見直しを行い、一方で、将来を見据え、投資すべきところには重点的に予算配分をし、施策の優先順位に基づきメリハリある予算編成に努めた。
- ・現在の業務に公民連携の考え方をいかに取り入れていけるか、みなさんには、新たな手法を引き続き考えていただきたい。
- ・多くの課題はあるが、議会からも指摘があるように、行政が丁寧な説明に徹し、市民の皆様と情報を共有し、信頼関係を築きながらまちづくりを進め「全員参加型市政」が実現できるようにしたい。
- ・部長が率先して、議会との良好な関係の構築に努めること。また、議員からの要望等については対処の方法を含めて報告すること。
- ・市民の市政に対する満足度やニーズを定期的に把握し、施策の企画立案及び実施にあたっての基礎資料とするため、3年に1回を目途に「市民満足度調査」を行っており、今年度はその実施年度にあたる。部長は調査結果をしっかりと受け止め、その後の事業に反映してほしい。

(最後に)

- ・最後に、良い仕事を行うためには、心と身体の健康が、第一である。
- ・自分自身はもとより、部下の健康管理にも日頃から目を配りながら、幹部職員としての職務を全うしていただきたい。

2. 副市長訓示

(伊藤副市長)

- ・平成31年度予算編成は、非常に厳しいものとなる。このことを前提に、これまでの予算の要求・査定方法を抜本的に改革する。現状として、政策的事業として始めた事業が、翌年には経常的事業となり、その後は見直しが実施されない状態が続いている。この部分の改革の取り組みが必要があり、各所管においても、しっかりと対応をしていただきたい
- ・働き方改革として、3つのことに留意していただきたい。まず、職員の「スキルアップ」として、OJTをしっかりと行っていただきたい。次に「プロセス」を重要視すること。例えばRPA（ロボットによる業務自動化）により、業務の効率化を進めることがそのひとつである。最後に「減らす」ということ。事業の見直しとして、同種同類の事業の整理を進めて欲しい。

- ・今後、人口が減少していく中で、職員数は増えることはないと考えている。したがって、所管業務について、人員のプラス要望するのではなく、少ない人数で、どのように仕事をするかを考えてほしい。
- ・担当業務にもよるが、2～3名の係は、4～5名の係へと再編を進めていきたい。

(水谷副市長)

- ・今後、様々なプロジェクトを同時並行で進めていくが、従来の考え方や手法を変えていくことになるため、日頃から、部内・部外を問わず職員が気づいたことを伝えあえる雰囲気づくり、また、問題意識を持てる雰囲気づくりに努めていただきたい。

3 自己紹介・新年度の抱負について

- ・全ての出席者から、自己紹介と今年度の抱負が述べられた。

4 その他

(1) 平成30年度 監査実施計画について (総務部)

監査委員事務局から監査実施計画が示されているので、各部局においてはそれぞれ対応をお願いしたい。

(2) 子育てプランシートについて (市長公室)

職員の働きやすい環境づくりのため、上司・部下が情報共有するためのシートであり、活用していただきたい。

(3) 平成30年度 部長会議 議題・課題等提案予定表 (案) について (市長公室)

9月4日が議会開催日となるため予定表を修正する予定である。改めて案内する。
→修正版の予定表を掲示します。

(4) 「平成30年度の部局の目標・方針」の様式について (市長公室)

次回の部長会議 (4月17日) での発表について、準備を進めていただきたい。

(その他)

・市議会議員選挙について (総務部)

期日前投票は従来どおり3か所で実施する予定であり (※本庁、多度・長島地区市民センター) 選挙事務の職員応援を各部に依頼する予定であるので、ご協力をお願いしたい。

また、選挙事務従事者については、防災担当関係者に配慮した配置とする予定であり、これまで選挙事務をお願いしていなかった、年長者、再任用職員の方にもお願いする予定であるので、あわせてご協力をお願いしたい。

・市長の朝礼巡回について (市長公室)

4月6日から実施する予定で調整している。

・平成30年度の目標管理について (市長公室)

管理職については、「ワークライフバランス」・「人材育成」についての目標を設定していただくこととする。また、係長以下については、「ワークライフバランス」についての目標を設定していただくこととする。

・公民連携について (市長公室)

公民連携提案として、「健康マイレージ事業（健康ウォーキングアプリ『RenoBody』）*」を市の公認とした。

（* 無料のアプリで、8,000(歩)の歩行につきポイント(1 waon)がもらえるというもの）
→スマートフォンを持っている職員は、積極的にダウンロードし、自身の健康管理に役立てていただきたい。（市長）

また、広告事業として、ごみ袋への広告掲載は、継続審議としている。

・政策監について（市長公室）

平成30年度から、政策監を部付けとしている。部長補佐としての役割を担っていただく目的であり、前年（前任者）と同じ業務を担当することではないことに留意していただきたい。

・駅周辺整備関係の決裁について（市長公室）

決裁区分（主に副市長決裁の部分）の変更を予定しているので、後日、周知する。